

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	留学生の募集等の実施		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度・なし		担当課室	学生・留学生課留学生交流室		学生・留学生課長 渡辺 正実		
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 14-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定) 「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジア諸国等の将来のナショナルリーダーとして活躍が期待される若手の行政官等を我が国に招へいし、日本に対する理解を深めることを通じて、我が国と世界各国の指導者等の人的・知的ネットワークを創るとともに、政策立案機能の向上に寄与するヤング・リーダーズ・プログラム(YLP)を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国費外国人留学生制度の一つであるヤング・リーダーズ・プログラム(YLP)に参加する外国人留学生を募集・選考し、5コース(行政、地方行政、法律、ビジネス、医療行政)を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	27	27	29	28	28	
	執行額	22	27	19				
	執行率(%)	81.5%	100.0%	65.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	我が国を含む諸外国の友好関係の構築、アジア諸国等の政策立案機能の構築・向上に我が国が寄与する。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	各分野のナショナル・リーダー育成に相応しいYLPコースの実施		活動実績 (当初見込み)	コース	5 (5)	5 (5)	5 (5)	— (5)
	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	YLPコースの採用人数		活動実績 (当初見込み)	採用人数	68 (70)	68 (60)	76 (70)	— (70)
単位当たりコスト	3,778千(円/コース) 249千(円/コース)		算出根拠	平成24年度執行額(18,889千円)/コース数(5コース) 平成24年度執行額(18,889千円)/採用人数(76人)				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	旅費		21.9百万円	21.9百万円				
	庁費		5.5百万円	5.5百万円				
	謝金		0.6百万円	0.6百万円				
計		28百万円	28百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、我が国を含む諸外国の友好関係の構築、アジア諸国等の政策立案機能の構築・向上に我が国が寄与するものであることから、国が実施すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	費目や使途は、プログラムの実施に伴う研修の講演謝金や旅費等に限定されており、受益者との負担関係の妥当性、資金の流れの支出の合理性においても問題は無い。旅費・庁費等の支出の際は、複数者の見積りを取り、事業の実施にあたり最も効率的な事業者に対して支出を行い、コストの削減に努めている。 また、不用率が高い理由は現地調査の日程調整がつかず、旅費の執行が減少したためである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	活動実績は見込みに見合ったものであり、優秀な留学生の継続的な受入れにつながっている点から、本事業の実効性は高い。国際交流に貢献するとともに、我が国を含む諸外国の友好関係の構築、アジア諸国等の政策立案機能の構築・向上に我が国が寄与するという成果目標にもつながるものである。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国等の将来のナショナルリーダーとして活躍が期待される若手行政官を毎年70名程度招へいし、我が国の大学が提供する5つのコースを受講することで、我が国とアジア諸国等の人的・知的ネットワークの形成に役立っている。 ・各大学が実施する現地調査にかかる経費の手続きの効率化を図る。 ・経費の執行に関しては、四半期ごとに執行管理を適切に行う。 					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点：本事業は、アジア諸国の若手行政官等を我が国に招聘し、我が国と世界各国の指導者等の人的・知的ネットワークを形成する事業であり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。 2. 所見：本事業は、平成25年度当初予算において、既に予算の縮減を図っているところであるが、平成24年度決算において不用額が生じているため、より詳細な要因を分析した上で、計画に基づいて適切な予算執行を行い、事業の合理化・簡素化を図るべきである。 					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	本事業については、平成25年度予算において、謝金及び旅費の単価について見直しを行ったところであり、平成26年度概算要求においても、適切な単価設定による要求を行った。					
備考						
【参考ホームページ】 ・ヤング・リーダーズ・プログラム Young Leaders' Program: http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/ylp.htm						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0411	平成23年	0173	平成24年	0194

A.文部科学省
19百万円

旅費
庁費
謝金

15百万円
3百万円
1百万円

（ヤング・リーダーズ・プログラムを実施するにあたり、募集要項の印刷等、現地選考試験、有識者による推進協議会の開催等を実施する。）

（注）本事業において百万円を超える契約はない。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する）
（単位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	教員派遣旅費	15			
印刷製本費等	募集要項印刷等	3			
謝金	推進協議会委員謝金	1			
計		19	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0